

VDI グラフィックスカード (NVIDIA Tesla M60) 【PY-VG3M6/PYBVG3M6】

はじめにお読みください

このたびは、当社の製品 VDI グラフィックスカード NVIDIA Tesla M60(PY-VG3M6/ PYBVG3M6)をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。

2017 年 7 月
富士通株式会社

目次

1. はじめに.....	2
2. ソフトウェアライセンスおよびサポートライセンスについて.....	2
3. サポートする構成	3
3.1. 対象のハードウェア.....	3
3.2. ファームウェア要件.....	3
3.3. サポート状況について	3
4. サーバ本体の BIOS 設定について.....	3
4.1. BIOS 設定の確認.....	3
5. Citrix XenServer でご使用になる場合	4
6. VMware ESXi でご使用になる場合	5
6.1 本体 BIOS 版数(CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下) について	5
6.2 それ以外の本体 BIOS 版数について	5
6.2.1 Interrupt Remapping 設定の確認.....	5
6.2.2 Interrupt Remapping 設定の変更.....	5
7. Windows 上の画面が表示されない場合	6
8. 最後に	7

1. はじめに

本製品のサーバ本体への搭載手順については、以下のWebサイトにて掲載しているそれぞれのサーバ本体のアップグレード&メンテナンスマニュアルをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/manual/>

本製品の詳細情報につきましては、以下のNVIDIAのWebサイトをご覧ください。

<http://www.nvidia.co.jp/object/nvidia-grid-jp.html>

サーバ本体のファームウェアについては、以下のWebサイトにて入手してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

本製品の留意事項やサポート情報については、以下のWebサイトに掲載の「テクニカルガイド」および「VDIグラフィックスカードサポート情報について」をご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/card/vdi-graphic.html>

2. ソフトウェアライセンスおよびサポートライセンスについて

本製品を利用するには、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスが必須となります。以下のシステム構成図を参照し、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスを必ず購入してください。初回購入 1 年目は、**NVIDIA GRID** ソフトウェアライセンスとサポートライセンスの両方がついています。2 年目以降継続してご使用になる場合には、期限内に初回購入したライセンスと同じ数量のサポートライセンス(2 年目以降更新型 1 年)を購入する必要があります。サポートライセンスを購入せずに期限が切れた場合はサポート対象外となります。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

3. サポートする構成

3.1. 対象のハードウェア

以下のサーバ本体にてVDI環境用途として本製品をサポートします。

PRIMERGY RX2540 M2
PRIMERGY CX2570 M2

3.2. ファームウェア要件

以下の BIOS/iRMC 版数以降で本製品をご使用頂けます。

PRIMERGY System	BIOS/iRMC 版数
CX2570 M2	1.3.0 / 8.13F
RX2540 M2	1.6.0 / 8.24F

富士通はファームウェアアップデートでのシステムへの損失等について責任を負いません。

3.3. サポート状況について

富士通がサポートするOS/ドライバ/ファーム版数については以下のWebサイトをご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/pdf/card/vdi-support-m60.pdf>

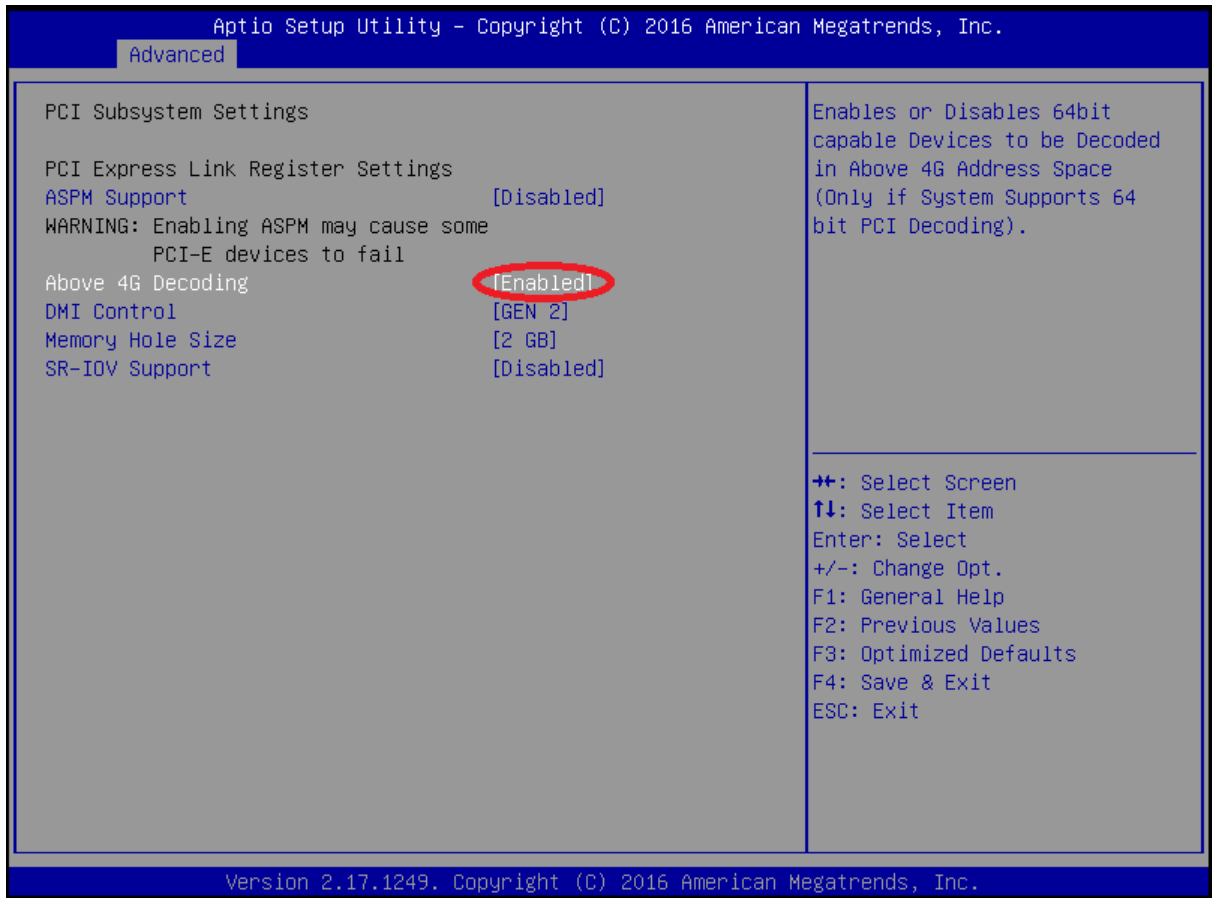
4. サーバ本体の BIOS 設定について

4.1. BIOS 設定の確認

VMware ESXiおよびCITRIX XenServerのインストール時には、以下のBIOS設定確認が必要です。

"Above 4G Decoding"項目 ⇒"Enabled"

“Above 4G Decoding”項目の確認について



- ・BIOS設定画面に入ります。
- ・“Advanced”メニューを表示します。
- ・“PCI Subsystem Setting”メニューの表示を確認します。
- ・ここで“Above 4G Decoding”項目を確認します。この項目は本製品が搭載されると自動的に“Enabled”に設定されます。(○で囲んだ項目) デフォルト値は“Enabled”です。
- ・“Save and Exit”を実行してBIOS設定画面から抜けます。

5. Citrix Xenserver でご使用になる場合

Citrixにてシステム運用する際に、以下の本体 BIOS 版数で Crash/ハングが発生する場合、次の手順にて問題を回避する必要があります。

【CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下】

Interrupt Remapping を無効にします。手順はホストにて以下のコマンドを実行し、XenServer のブートオプションに「iommu=no-intremap」を設定してホストを再起動します。

```
# /opt/xenresource/libexec/xen-cmdline --set-xen iommu=no-intremap
```

6. VMware ESXi でご使用になる場合

本カードを使用して VMware ESXi をご使用の場合、次の本体 BIOS 版数では以下の手順が必要になります。

6.1 本体 BIOS 版数(CX2570 M2: BIOS 1.7.0 以下、RX2540 M2:BIOS 1.12.0 以下) について

Interrupt Remapping を無効にする必要があります。**Direct Console User Interface(DCUI)**または **SSH** 接続を使用し、以下を実施してください。

<Interrupt Remapping 無効の手順>

- 1) 対象のESXiホストにログインして下記コマンドを実行します。
`# esxcli system settings kernel set --setting=iovDisableIR -v TRUE`
- 2) 対象のESXiホストを再起動します。

なお、該当の BIOS については vGPU/vDGA モードは制限となります。vSGA モードにてご使用ください。

6.2 それ以外の本体 BIOS 版数について

ESXi のバージョンやパッチ等によって、**Interrupt Remapping** 設定が無効になっている場合がありますので **Interrupt Remapping** 設定を有効にする必要があります。以下の手順にて必ず設定を有効にしてください。

6.2.1 Interrupt Remapping 設定の確認

下記の手順で **Interrupt Remapping** が有効か確認してください。

- 1) BIOS設定において VT-dが有効か確認します。
- 2) 対象のESXiホストにて下記コマンドを実行し、オプション設定 **iovDisableIR** が **FALSE** であることを確認します。

```
# esxcli system settings kernel list -o iovDisableIR
```

- 3) 対象のESXiホストを再起動します。

6.2.2 Interrupt Remapping 設定の変更

下記の手順で **Interrupt Remapping** を有効化してください。

- 1) BIOS設定においてVT-dを有効にします。
- 2) 対象のESXiホストにて下記コマンドを実行し、オプション設定 **iovDisableIR** を **FALSE** に変更します。

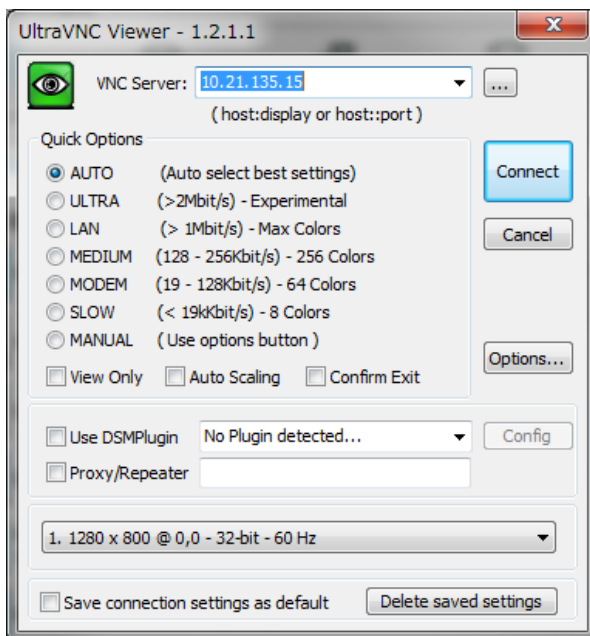
```
# esxcli system settings kernel set -s iovDisableIR -v FALSE
```

- 3) 対象のESXiホストを再起動します。

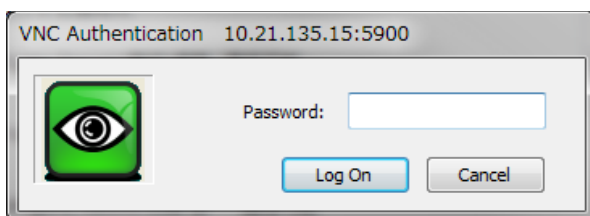
7. Windows 上の画面が表示されない場合

物理サーバに本カードを搭載してWindows Server 2012 R2上で本カードのドライバをインストール後、Windowsを再起動した場合、Windowsの画面が表示されない場合があります。この場合、VNCなどのリモートビューアを使用し、次の手順にて回避することができます。

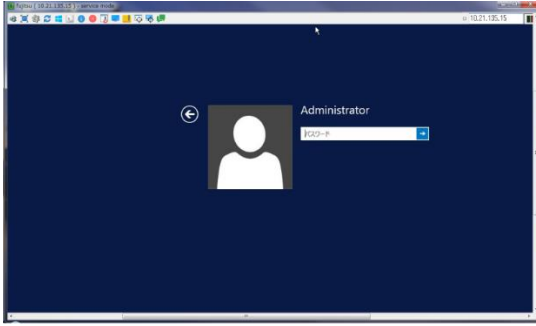
- 1) セーフモード（F8キー）にて物理サーバのWindowsを起動します。
- 2) VNC（サーバ用）をインストールして物理サーバ側のIPアドレスやパスワード等を設定します。
- 3) Windowsを再起動し、セーフモードから抜けてWindowsを通常起動します。
- 4) 物理サーバに接続する別のPCを用意し、VNC（クライアント用）をインストールします。
- 5) 物理サーバと別のPCをLANケーブルで接続し、ネットワーク経由で別のPCからVNC Viewerを起動します。
- 6) 設定したIPアドレスにて物理サーバに接続します。



- 7) 設定したパスワードを入力します。



- 8) 物理サーバにログインします。



9) デスクトップ上を右クリックして、メニューから「画面の解像度」を選択します。



10) 「画面の解像度」の画面で①をクリックし、「これをメインディスプレイにする」にチェックを入れて OK ボタンをクリックします。



以上で、物理サーバ側のディスプレイに画面が表示されます。VNCを切断してください。

8. 最後に

BIOS/iRMCファームウェア版数は最新にしてください。最新版数については、以下のWebサイトから確認ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

以上